

第2回 五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民検討委員会のまとめ

■当委員会の目的と流れ

目的	「住んでよかった、住みたいまち五泉」の実現に向けて、人口減少対策を含めた地方創生に関する計画に対し、市民・各界の代表として検討を行うこと。	
検討内容 ・ 流れ	①五泉の強み・弱み・まちづくりの方向性	(6/16)
	②将来展望・基本目標(案)・施策の方向性	(7/28)
	③施策・指標	(8月)
	④今後に向けた取組	(9月)

■開催概要

日時	平成27年7月28日(火) 14:00~16:00
会場	五泉市役所4F 401会議室
参加委員	19名(産学官金労言の各分野計20名構成)
説明内容	①前回のふりかえり ②アンケート結果(速報) ③子ども子育て市民ワークショップのまとめ ④人口ビジョン修正案 ⑤総合戦略の骨子案 ⑥総合戦略のための事業案
意見交換	総合戦略の骨子と事業案について

■実施状況



意見交換の様子

■意見交換「総合戦略の骨子と事業案について」の結果

総合戦略に登載する個別事業について委員の皆さんで検討していただいた結果、事業の内容や方向性などについて、主に以下のような意見がだされました。

なお、骨子案については、事業が概ね固まった段階で見直すこととしました。

項目	事業の内容や方向性についての意見
観光シーズンを活かした出会いの場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●花シリーズの時期に出会いのイベント等を開催し、観光客の集客増大を促進。 ●市や観光協会によってテレビ等のメディアによるPR。
安心して出産できる体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ●産婦人科の市内誘致とともに、大病院との連携。
保育・子育ての多様化・柔軟化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●保育料の無料化、学校関連費の無料化等の経済的支援の充足。 ●保育時間の拡大、受け入れ条件の緩和(入園時期、親の労働状況)等の柔軟な保育体制の確立。 ●既存の施設(子育て支援センター)や人員(母子保健推進員)の利用拡充。
ワークライフバランスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●働きながら子育てできる環境の整備、企業に対する支援。
教育を通じた連携促進	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが通う学校のPRを通じて、移住定住を促進。 ●地域コミュニティと学校との連携による歴史や伝統文化の継承。
持続可能な農業振興と、ブランド力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●インターンシップ制度等での短期就農支援や技術指導による担い手の育成・確保。 ●全国に誇れるさといも「帛乙女」の生産量増大、及び収穫時の労力軽減策。 ●新潟大学や金融業界等との連携による6次産業化、ブランド強化、販路拡大の推進。
ニットのブランド力・PRの強化	<ul style="list-style-type: none"> ●ニット業者と商工会や市民等との連携をはじめ、県内外や海外に向けた販売ルートの創出・強化。 ●ブランド発信対策の推進(ストーリー、デザイン、メディア、ショールーム等)。
地域密着型の企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ●産業観光等の話題性を生む大企業誘致。 ●遊休土地や施設の利活用も含めた企業誘致の推進。
地域振興につながる賑わい ・集客環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●花シリーズの時期の集客を活かした大規模商業施設(アウトレット等)の誘致。 ●五泉の農産物やニット製品等を販売する拠点施設の整備(道の駅等)。地元主導のPFI活用等、五泉ならではの取組体制で。
地域資源を最大限に活かした観光・交流	<ul style="list-style-type: none"> ●村松公園の整備(子ども向けの安全安心・娯楽対策、桜樹木更新)と、温泉との連携方策。 ●豊かな自然を活用したアウトドア整備の推進(チャレンジランド杉川を拠点に)。 ●蒲原鉄道の復活による交通再生と観光振興。
スポーツイベントによる健康増進と観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ●ロングライドと観光振興との連携(県の支援が可能)。 ●合宿誘致による全国大会レベルのスポーツ振興。 ●新潟医療福祉大との包括連携協定を活かした取組。
空き家・空き店舗対策	<ul style="list-style-type: none"> ●市と不動産業界との連携による空き家バンクの創設。 ●まち中の空きビルの利活用と、それに伴う所有者との調整。
住みやすさを誇る住宅整備	<ul style="list-style-type: none"> ●既存の「ファミリー住まいる応援事業」の拡充(子育て支援を強化)。 ●地価安価を強みに「五泉にきなせや」と銘打った住宅団地整備によるIターン・Uターンの促進。
街並み整備型のコンパクトシティ	<ul style="list-style-type: none"> ●城下町の特性とバリアフリーを特徴づけたコンパクトシティづくり。